

U34 ジブリパーク現地視察会

I. 開催日程等

【日 時】2024 年 12 月 19 日（木曜日） 10:00～17:00

【場 所】愛・地球博記念公園、ジブリパーク

【テーマ】・愛・地球博記念公園とジブリパーク、都市公園機能と民間機能（テーマパーク）の融合に伴い、意匠計画・設計目線で苦勞したこと

・短期間での北エントランス等の設計・施工を ECI（施工予定技術者事前協議）方式や事業者協働より実施した際の実際の調整内容等について 等

【講 師】尾張建設事務所 愛・地球博記念公園出張所 吉田所長

日本工営都市空間株式会社 ランドスケープ・建築部 井上課長

【参加者】現地 21 名

II. 活動概要

今回、愛知住まい・まちづくりコンサルタント協議会に属する会員企業の若手技術者の交流・親睦を深めるとともに、若手技術者の知見向上を図るため、U34 を対象に現地視察会を開催しました。

現地視察会に伺った愛・地球博記念公園（ジブリパーク）は、県営の公園機能と民間機能が融合した施設として、2022 年にリニューアルオープンしました。来場者数は、リニューアルオープン前 2018 年は 156 万人だったところ、ジブリパーク第 1 期オープン時 2022 年には 261 万人まで増加し、今後も増加を続けると予想されています。来場者数増加に繋がった要因として、吉田氏は、2005 年に開催された愛知万博の際に整備したリニモ、有料道路、パークアンドライド等の既存ストックを有効活用できた点、また、地元の方の積極的な連携、そしてジブリの知名度が考えられるとのことでした。ただ、供用開始後も残っている課題として、愛・地球博記念公園に来場される方とジブリパークに来場される方の利用者層の二極化が進んでおり、ジブリパークを含む愛・地球博記念公園全体のコンセプトが定まっていないこともあり、人口減少が進む中で昨今の新しい動きを取り入れたアイデアを考えてみてほしいとのことでした。また、ジブリパーク開園に伴う愛・地球博記念公園の再整備には、本協議会に属する日本工営都市空間株式会社、株式会社伊藤建築設計事務所、中央コンサルタント株式会社が携わり、第 40 回都市公園等コンクールにおいて（一社）日本公園緑地協会会長賞を受賞しました。愛・地球博記念公園の北エントランスの設計に携わった井上氏は、スタジオジブリや ECI 方式により先行して選定された施工事業者との実際の調整の様子等をご紹介いただきました。午後は、ジブリパーク（有料エリア）を散策し、現地視察会に参加いただいた各社の若手技術者同士の交流・親睦が十分に図れたのではないかと感じております。今後も、若手技術者同士の積極的な交流を図るため U34 の活動を継続させていければと思います。



（報告：日本工営都市空間株式会社 横山早紀）